



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジニファー・ジョーンズ

Weekly Report Niigata



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治彦

新潟 RC 8月第 3例会 (2022.8.23) (Zoom 例会併催) No.3425

(1) ロータリー——ソング「我等の生業」ピアノ演奏

(2) 石川 治彦会長挨拶

本日は浄土式庭園の続きのお話をしたいと思います。その中で私たち庭屋が大切にしているこの時代から伝わる庭園の技法書「作庭記」のご紹介も併せてしていきたいと思います。平安時代末期 奥州藤原氏が活躍していた時代の平泉は京都につぐ都市として発展していたとのこと。その平泉に残る浄土式庭園が毛越寺庭園です。

毛越寺は奥州藤原氏二代目の藤原基衡によるもので、往時はかなりの数の堂塔があった大寺院でした。当時の建物は残っていませんが、庭園が残っています。そして庭園の大部分を占めるのは大泉が池とよばれる池です。この毛越寺庭園は平安時代末期に造られた庭園ですが、その当時の作庭のマニュアル「作庭記」が現代にも伝わっています。そして、その作庭記に記載の内容がよく表れた庭園として最も重要とされるのが毛越寺庭園です。そんな毛越寺庭園の見所作庭記の記述も交えてお話して行きます。

作庭記には池を作成する際の心得の記述があります。
「石をたつるにハ やうやうあるべし 大海のやう 大河のやう 山
河のやう 沼池のやう 筆手のやうなり

大海様ハ 先あらいそのありさまを たつべきなり さて所々に洲崎
白はま みえ わたりて 松などあらむべきなり」

池をつくる際には海や川などに見立てることが重要です。

と作庭記には記載があり、

大海を表現するには、まず荒磯(波の荒い岩の多い磯)を立てて、所々に洲崎(州が海中に突き出た所)や白浜(白砂の浜)を見えるようにすることが良いと作庭記には書いてあります。毛越寺の写真左の立石とその周辺の石組(いわぐみ)がその荒磯です。写真奥では玉石を敷き詰めて白浜が表現されています。

池の南西部分にある出島から続く石組がこの庭園でもっとも印象的な部分だと思えます。先ほどの記述にあったとおり、荒磯の表現です。池中に石を立てるときの技術的なことも作庭記には記されています。

「池の石は そこよりつよもたえたる つめいきをきて たてあげつれば
年をふれども くづれたふるゝことなし 水のひたるときもなをとおもろく
みゆるなり」

ということで、爪石(指先から少しでた爪のように、水底から少し出る石)をおいて土台にすると崩れることはないし、水がひいても趣があるとして、石をしっかりと立てて見た目にもよい方

法が記されています。

こちらの写真は荒磯の石組を手前にして北側を見たところ。東側の岸からは岬のようにつきだした部分があります。最初に引用した作庭記の記述にある「洲崎」です。

「池ならびに河のみぎハの白浜ハ すきさきのごとくどがり
くわがたのごとくゑりいるべきなり」

作庭記のこの部分は洲浜の形状がどうあるべきかを示しています。鋤鉾(すきさき)というのは農具の鋤の先につける金具のことで、鋤鉾のように尖った形状がいいとしています。鋤形(くわがた)というのは兜につけるU字型の装飾具です。洲崎の手前側に鋤形のような曲線の州浜を見ることができます。

池の南西部の築山ではごつごつとした石が積み重ねられていて、岩山が表現されています。これは作庭記にある「枯山水」の実例といわれています。ただし、この時代の枯山水は、龍安寺の石庭などで有名な枯山水とは違って、作庭記では池もなく遣水もなき所に 石をたつる事あり これを枯山水となづく

「その枯山水の様ハ 片山のきし 或野筋などをつくりいでて
それにつきて石をたつるなり (略) すべて石ハ 立る事ハ
すくなく 臥る(ふせる)ことはおほし」

この築山でも野筋をつくって石を立てています。作庭のことを石立てというので「石をたつる」などの表現がされていますが、臥せる(伏せる)ことも多いと記されていて、この築山でも伏せられた石を見ることができます。

池の北東部分には池に水を入れるために水を流す遣水(やりみず)があります。作庭記では遣水について多く記述があるので、当時の庭園ではかなり重要なものだったようです。

「遣水の石をたつるにハ底石水切の石、つめ石、横石、
水この石あるべし

遣水谷川の様ハ山ふたつがハざまよりきびしくながれいでたる
すがたなるべし」

ということで、山の間を流れる谷川が表現されています。遣水の石立ては底石、水切の石、爪石、横石、水瀝しの石を使うということですが、これらは石の高さが底と水面に対してどの程度かを示しています。この石の微妙な高さによって水面の表情に変化をつけることが求められていたようです。

まさに作庭記の記述そのものが現代に残されており何とも平安時代の庭を作庭した人たちの感性に驚くばかりです。平安時代の浄土庭園として非常に美しい庭園ですが、当時の建物が残っていないのが残念なところ。貴重な文化遺産であることは間違いのないと思います。

(3) ビジターの紹介

・木村廉平君（新潟万代 RC）

(4) 新会員の紹介



㈱新潟グランドホテル
代表取締役社長 中山 真君
御紹介 宇尾野隆君
所属委員会 社会奉仕委員会

この度は、伝統ある新潟ロータリークラブとご縁をいただき、誠にありがとうございます。㈱新潟グランドホテルの中山真と申します。他にも㈱新潟トラベル、万代タクシー(株)の代表取締役も務めさせていただいています。ホテル、旅行、タクシーと、新型コロナの直撃を受けた業種に特化していたので、一時期はだいぶ心が病んでいましたが、やっと少しずつ平常に戻りつつある状況の中で、自分の心の中の何かが大きく変わった気がいたします。そんな経過の一つとして、今回新潟ロータリークラブへの入会の決意をさせていただきました。私の事を知っている方には信じられないと思いますが、最近は週末中心ではありますが、朝、妻と散歩をしたり、近く神社をお参りしたりしています。少し健康になったような気がします。とは言え、趣味?の焼肉屋さんの新規開拓と、ひなびた温泉巡りは最近絶好調で継続中です。ゴルフも麻雀もバンドもやらないですが、旅行と宴会は大体お付き合いできると思っています。どうぞ、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



JAバンク新潟県信連
代表理事専務 島本 春幸君
御紹介 山口 和彦君
所属委員会 R財団委員会

JAバンク新潟県信連の 島本春幸です。この度は伝統ある新潟ロータリークラブへの入会を認めていただき、厚く御礼申し上げます。昭和38年新潟市中央区で生まれてからずっと新潟育ちです。JAバンク新潟県信連入会後はJAバンク関係の仕事が長く県内JAを数多く訪問し、JA組合員や農業、地域の発展のため仕事に邁進してまいりました。サッカーのアルビレックスは20年以上応援し続けており、休日は自然豊かな場所を訪れたり、直売所で旬の野菜・果物を買って求めたり、筋トレしたり、日帰り温泉に行くなど、毎日出歩いています。協同組合精神はSDGsやロータリーの理念にも通じるものと考えております。皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 委員会報告

・宮島多佳子社会奉仕委員長（8/21海岸清掃報告）

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(苅部雄一委員)

本間 疆君

米山奨学会寄付発表(渡辺 浩幸委員長)

得永 哲史君

青少年育成基金寄付発表(武田眞二副委員長)

石川 治彦君

(7) ニコニコボックス紹介（関川 博信委員長）

・敦井 栄一君 セコムの福満 純幸さん、白山神社の 小林 慶直さん、テニーの小山 章司さん、グランドホテルの中山 真さん、ロータリーの仲間になりましたので……

・山口 和彦君 島本春幸さんの入会を祝してニコニコします。

・大澤 強君 本日入会されたJAバンク新潟県信連 島本さんを歓迎して。

・宇尾野 隆君 中山真さんの入会を歓迎して。

・敦井 栄一君、小林 慶直君 無事、新潟まつりが終わりました。皆様のご協力ありがとうございました。

・石橋正利君 お盆に子供たちと孫たちが3年ぶりに帰ってきました。海で一緒に泳いだり、まめアジをつりました。

(8) 幹事報告（高野 潤幹事）

・例会後 新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。

(9) 8月23日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
87	84	66	78.57

Zoom参加 14名

8月30日の例会予定

卓話 「日本海における海保の現況」

第九管区海上保安本部次長 伊藤 卓郎氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

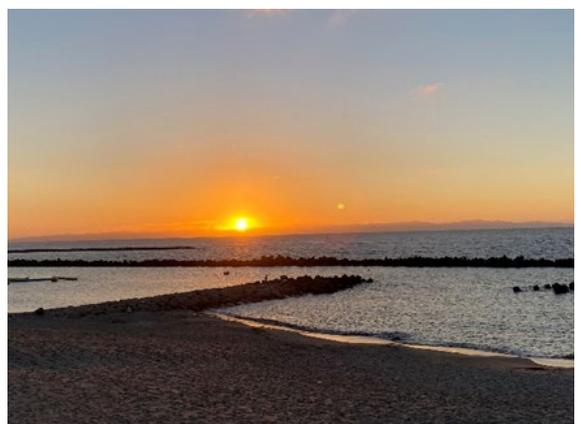
新潟ロータリークラブ

関屋浜周辺の清掃活動報告

新潟ロータリークラブ

社会奉仕担当理事 若槻 良宏

令和4年8月21日(日)、社会奉仕委員会主催で恒例の夏の行事である海岸清掃（関屋浜及びその周辺の公園やサイクリングロードの清掃）を行いました。石川会長、高野幹事をはじめ、高橋ガバナー、ロータリアン、ロータリアンファミリー、ローターアクト、総勢40名が参加されました。清掃終了後には、Sea Pointの屋外テラスにて、海辺の涼しい風を感じながら、バーベキューによる懇親会を開催しました。当日は快晴で日本海、佐渡の稜線上の夕陽は絶景でした。ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



写真撮影 石川治老会長、若槻良宏担当理事